

4年

学年便り

イロトリドリ

第4学年 学年便り

中野区立桃園第二小学校

令和6年1月9日（火）

校長 山崎 義弘

🎉

📖

🎉

新しい年の幕開けです！

🚀

📖

🎉

新しい年を迎えました。子どもたちは、やる気に満ちあふれていることと思います。

昨年は、多くの校外学習を通して、自分たちで考えて行動することが徐々にできるようになってきました。4月には高学年の仲間入りをするので、1月は、「時間の見通しをもって行動すること」を課題に過ごしていきます。やらなければいけないこと、そのために必要な時間や、使うことのできる時間などを考え、計画を立てて過ごしていけるよう声を掛け合っていきます。とてもレベルの高いことですが、委員会活動や移動教室など、高学年になると時間を意識して過ごさなければ、多くの人に影響を与えてしまう場面が増えていきます。子どもたちが少しでも安心して高学年になれるよう、担任一丸となり指導をしてまいります。今年も、よろしくお願いいたします。

< 1月の行事予定 >

🎉🎉🎉🎉🎉🎉🎉🎉🎉🎉🎉🎉🎉🎉🎉🎉

月	火	水	木	金	土
8 成人の日 冬季休業終	9 全校朝会 算数道場 ⑤ ※計画委員会のみ⑥ 委員会活動	10 学び あんぜんデー 席書会 ⑤	11 B時程 発育測定 ⑥	12 たてわり 校内 書き初め展開始 (～19日) ⑥	13 土曜授業公開 研究授業公開 下校 11:35 ③
15 学び ジャイアンツ アカデミー クラブ活動 算数道場 ⑥	16 全校朝会 ⑥	17 学び ⑤	18 プレイ ⑥	19 児童朝会 避難訓練 ⑥	20
22 学び 算数道場 ④	23 音楽朝会 ⑥	24 学び ④	25 プレイ ⑥	26 児童集会 避難訓練 予備日 ⑥	27
29 学び 持久走開始 (～2/9) 算数道場 ⑥	30 体育朝会 ⑥	31 学び ⑤	2/1 プレイ ⑥	2 たてわり ⑥	3

※○の数字は授業時数です。水曜日は水曜時程です。下校時刻は次の通りです。

④・・・13:15 ⑤・・・14:25 ⑥・・・15:20

B時程 ⑤・・・13:25 ⑥・・・14:30 水曜時程 ⑤・・・14:15 ⑥・・・15:05

算数道場は授業終了10分後から開始し、40分間行います。

< 1月の学習予定 >

📖📖📖📖📖📖📖📖📖📖

国 語	自分だけの詩集を作ろう 熟語の意味 ウナギのなぞを追って
社 会	島の自然を生かした人々の暮らし 世界とつながる東京都
算 数	どのように変わるか調べよう 広さの表し方を考えよう
理 科	ものの温度と体積 星や月〔3〕冬の星 季節と生物〔6〕冬
音 楽	ラクンパルシータ ノルウェー舞曲第2番
図 工	飛び出すハッピーカード
外国語	お気に入りの場所をしょうかいしよう ぼく・わたしの一日
体 育	ゴール型ゲーム マット運動
道 徳	節度、節制 友情、信頼 国際理解、国際親善
総 合	今の自分と向き合おう



校内書き初め展について

期間：1月12日（金）～19日（金）

場所：各教室の廊下壁面

平日は、15時45分～18時

13日（土）は、8時45分～18時を鑑賞時間とさせていただきます。

14日（日）はありません。1・2年生は硬筆、3～6年生は毛筆です。

ぜひ、全校の子どもたちの作品も合わせてご覧ください。

なお、1月26日（金）～30日（火）に行われる予定の、区の連合書き初め展は、学年から3点出品します。代表児童のご家庭には後日改めてお知らせします。

研究してきたことを発表する
授業公開について

1月13日（土）

1校時：2、3、4年生、5－2

2校時：講演会（図書室）

3校時：1、5、6年生、2－2

1月の学校公開では、研究してきたことを発表する授業公開を行います。本校の授業改善推進プランの柱でもある、「個別最適な学び」「協働的な学び」を取り入れた授業を公開します。当日は、各教室に、授業のねらいや意図などが書かれた学習指導案を置いておきます。

また、2校時には元東京都算数教育研究会 会長である山崎憲先生を講師としてお招きし、『「なぜ？」を考えることが楽しい子どもを育てる』をテーマにご講演をいただきます。奮ってご参加ください。詳細は、今週配布するお知らせをご覧ください。

家庭学習推進旬間後の結果について

11月30日（木）から12月9日（土）に実施した「家庭学習旬間」へのご協力ありがとうございました。

都道府県テストの学年平均は37.1点（47点満点）、正答率：78.9%でした。今年度3回目の都道府県テストでした。前回までは、漢字を書くだけのテストでしたが、今回からは都道府県の場所覚えるという内容にレベルがアップしました。冬休み明けの都道府県テスト、漢字50問テストは、本日9日と15日に行います。冬休み前から、どれだけ成長したか比較することが大切です。